

公の施設の指定管理者における業務状況評価

令和4年11月22日

| | | | |
|-----|-----|-----|----------------|
| 施設名 | 文学館 | 所管課 | 文化生活スポーツ部文化国際課 |
|-----|-----|-----|----------------|

1 施設の概要

| | | | | | | | | | | | | |
|--------|--|----------------|---------------------|-------|-------|-------------|--|-----|----------------|--|----|---------------|
| 指定管理者名 | (公財)高知県文化財団 | 指定期間 | 平成31年4月1日～令和6年3月31日 | | | | | | | | | |
| 施設所在地 | 高知市丸ノ内1-1-20 | | | | | | | | | | | |
| 事業内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学に関する書籍、原稿、文献、写真、フィルムその他の資料及び文学者の遺品等(以下「文学資料等」という。)を収集し、保管し、及び展示し、並びに閲覧に供すること。 ・文学資料等の調査研究 ・文学に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の教育普及活動 ・企画展示室、ホール及び茶室の提供 ・上記のほか、文学館の設置の目的を達成するために必要な業務 | | | | | | | | | | | |
| 施設内容 | <p>〈建物〉延べ床面積:2,748㎡ RC造地上2階建 〈土地〉4,266㎡ 〈主要施設〉常設展示室、企画展示室、寺田寅彦記念室、ホール、茶室など 〈開館時間〉午前9時～午後5時 〈休館日〉12月27日～1月1日 〈主な料金〉常設展 一般370円 ※高校生以下、高知県長寿手帳(65歳以上)、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳を所持する者と介護又は介助者1名、高知市長寿手帳を所持する者は無料</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">施設利用料</td> <td style="padding-right: 10px;">企画展示室</td> <td>23,720円(1日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ホール</td> <td>12,780円(全室/1日)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>茶室</td> <td>3,660円(全室/1日)</td> </tr> </table> | | | 施設利用料 | 企画展示室 | 23,720円(1日) | | ホール | 12,780円(全室/1日) | | 茶室 | 3,660円(全室/1日) |
| 施設利用料 | 企画展示室 | 23,720円(1日) | | | | | | | | | | |
| | ホール | 12,780円(全室/1日) | | | | | | | | | | |
| | 茶室 | 3,660円(全室/1日) | | | | | | | | | | |
| 職員体制 | 常勤職員: 5人 契約職員: 12人 合計: 17人 | | | | | | | | | | | |

※職員数は令和4年4月1日現在

2 収支の状況

単位:千円

| | | 令和2年度(決算) | 令和3年度(決算) | 令和4年度(予算) |
|-------------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 収入 | 県支出金 | 124,003 | 131,832 | 133,703 |
| | 事業収入 | 2,303 | 5,825 | 5,483 |
| | その他 | 4,900 | 10,248 | 4,960 |
| | 収入計(a) | 131,206 | 147,905 | 144,146 |
| 支出 | 事業費 | 131,206 | 141,964 | 144,146 |
| | (うち人件費) | (72,232) | (79,372) | (76,026) |
| | その他 | 0 | 0 | 0 |
| | 支出計(b) | 131,206 | 141,964 | 144,146 |
| 収支差額(a)-(b) | | 0 | 5,941 | 0 |

3 利用状況

| | | 令和2年度(実績) | 令和3年度(実績) | 前年度比 |
|---|-----|-----------|--------------|-----------|
| ① 年間利用者数 合計 (単位:人) | 常設展 | 574 人 | 常設展 931 人 | + 357人 |
| | 企画展 | 8,910 人 | 企画展 26,986 人 | + 18,076人 |
| | 計 | 9,484 人 | 計 27,917 人 | + 18,433人 |
| | ホール | 768 人 | ホール 2,184 人 | + 1,416人 |
| | 茶室 | 422 人 | 茶室 572 人 | + 150人 |
| | 合計 | 10,674 人 | 合計 30,673 人 | + 19,999人 |
| <p>〈利用実績〉 ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたにも関わらず、観覧者目標を達成した(目標人数:23,200人、達成率:約120.3%(ホール、茶室分を除く))。</p> | | | | |

| | |
|--------------------|---|
| <p>② 利用者意見等の反映</p> | <p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロビーにアンケート箱を常時設置し、利用者アンケートを実施している。 (回収359件、回収率1.3%) ・利用者アンケートは、展覧会の会期ごとの実態(性別、年齢、来館数、観覧者の住所、交通手段、来館のきっかけ、展示内容等各種評価等)を集計している。 <hr/> <p>○ 利用者意見等を踏まえた対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートの意見等を含めサービス向上のための改善に取り組んでいる。 <p>＜事例＞</p> <p>(意見) ノタン展でボールのところなどなかなか交代してくれず、小さい子供が遊べなかった。職員より交代を促してほしい。</p> <p>(対応) 混雑時には一組5分以内の利用を呼びかけるパネルを作成し掲示するとともに、担当者による巡回を増やし、監視員とともに、場所を独り占めしないようお客さまに注意を促した。</p> <p>(意見) 男性用トイレにコート掛けがない。</p> <p>(対応) 全ての男性用トイレにフックを設置した。</p> <hr/> <p>○ その他</p> |
| <p>③ その他特記事項</p> | |

本県ゆかりの文学作家を顕彰し、高知の文学の魅力を伝えるとともに、県民の文学への関心を高める

要求水準－収集・保存

収集方針に基づき、県関係の作家の資料を収集し、適切に保存する

評価項目

- (1) 作家や関係者との信頼関係を築き、特色のある資料の充実に努める
- (2) 資料の整理・分類、点検・劣化防止等の処置を適切に行う

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・作家や関係者と良好な関係を維持し、貴重な資料の寄贈・寄託につなげており、平時の地道な積み重ねが成果として表れている。 ・良好な保存・展示環境を作ることでリスクを軽減する活動に取り組んでおり、常に保存・展示環境に気を配る習慣を身につける努力が認められる。 |

要求水準－調査・研究

評価項目

職員の専門性の向上を図るとともに、高知の文学や作家に関する調査研究を進め、その成果を、展示や広報媒体などを通じて、広く公開する

| 評価 | 理由 |
|----|---|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・所蔵資料の分類・整理の調査研究に継続して取り組み、成果報告として、顕彰作家のローテーション展示を行っている。 ・県内外の文学館施設と交流し、情報交換や専門性の向上に寄与する活動を継続して行っていることが認められる。 ・学芸員が雑誌での連載や市民学校、シルバー大学、高知大学等で講義を行うなど、より多くの県民へ文学の魅力を広めることができている。 |

要求水準－展示・公開

優れた文学作品に触れる機会を提供し、文学の愉しさを伝える

評価項目

- (1) 新鮮さと変化が感じられる常設展示や、時代の変化を踏まえ、様々な年代の知的好奇心に触れる企画展示を行い、5年間で11万人以上の観覧者を目指す
- (2) 次代を担う子どもたちに喜びと感動を与え、創造性豊かな心を育む企画展示を行う
- (3) ギャラリートークの実施など、来館者の理解が深まる取り組みを行う

| 評価 | 理由 |
|----|---|
| A | <ul style="list-style-type: none">・高知県の文学作家の顕彰を中心に、様々な年齢層を対象にした質の高い展覧会を実施しており、常設展・企画展の合計観覧者数は27,917人と、年間目標値である23,200人を達成することができた。・子どもに関心の高い企画展等を実施することで、子どもたちが文学に興味を持ち、文学館に訪れるきっかけを作ることができている。・ギャラリートークや解説、関連企画等を積極的に実施し、見るだけでは伝わらない担当者の思いや作品の背景を伝えることにより、来館者の理解が深まる取組を行っている。 |

要求水準－教育・普及

様々な年代を対象とした教育・普及活動を行う

評価項目

- (1) 多彩な年代に応じた教育プログラムの実施により、来館者の文学への関心を高める
- (2) 文学活動に取り組む団体や個人の活動を支援し、文学活動の裾野を拡げる

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none">・文学マイスター講座の開催をはじめ、職員の講師派遣やおはなしキャラバン等のアウトリーチ活動を積極的に展開するなど、多彩な教育プログラムが実施されている。・朗読の会や語りと紙芝居の会、近世土佐文学研究会への活動の場の提供など、文学活動に取り組む団体への活動支援が行われたと認められる。 |

要求水準－広報

評価項目

高知の文学に関する戦略的な情報発信により、県内外に館の魅力を広める

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・各種広報媒体との良好な関係構築により、企画展等の情報を広く発信できるようになるなど、積極的な広報活動が行われている。 ・ポスター、チラシ等を各施設等に直接持参し、現場の広報実態について情報収集を行っている。 ・講演会などを通じて、高知の文学について、広く伝える取組が行われていると認められる。 ・ホームページのほか、Twitter やFacebookなどの SNS を活用し、常に鮮度の高い情報発信を目指してほしい。 |

要求水準－その他

評価項目

県内外の他の博物館等と連携した事業の充実により、県民サービスの向上を図る

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・全国の文学館組織や文化施設等との連携を図り、資料の貸し借りや情報共有を行うことで、より魅力ある企画展の開催や巡回展の誘致につなげている。 ・「高知お城下文化施設の会」での活動を行うなど、分野を超えた連携を積極的に行っている。 ・子ども企画を扱う民間会社との情報交換を密に行い、時代のニーズ把握等に努めている。 ・これまでの企画展開催実績により、県外民間企業等との良好な関係構築ができており、全国規模での企画展等の情報等を収集できている。 |

要求水準－施設管理

施設及び設備の適切な保守管理をとおして、故障や事故のない運営を行う

評価項目

| | | |
|---------------|----------|---|
| (1)適切な管理運営の確保 | 社会的責任 | ・法令等の遵守 ・個人情報、情報公開の状況 |
| | 建物や設備の管理 | ・点検、修繕の実績 ・業務委託の状況 |
| | 危機管理 | ・風水害、火災、地震、盗難等危機管理対策 ・マニュアルの作成 ・職員研修 |

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・建物・設備の管理については、事前に修理を行い、観覧者の安全性や快適性を保つ等、適切な管理運営が遂行されたと認められる。 |

| 評価項目 | |
|-----------------|---|
| (2)利用者サービスの維持向上 | ・利用者の意見の反映 自己点検、評価の状況 ・事故、クレームへの対応 ・職員の専門性の向上 ・研修の実施状況 ・その他サービス向上の取り組み |

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| B | <ul style="list-style-type: none"> ・来館者アンケートの実施や、定例会等の自己点検により、利用者サービスの維持向上、改善に努めている。 ・各種研修会に積極的に参加するなど、職員の専門性の向上により、展示環境改善へ繋がっている。 |

| 評価項目 | | |
|---------|---------|----------|
| (3)利用実績 | 利用実績の状況 | ・利用状況の分析 |

| 評価 | 理由 |
|----|---|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大のため一定の制約があった中、常設展・企画展の合計入館者数は 27,917 人で、目標参加者数の 23,200 人を達成している。 ・教育普及事業参加者は 10,946 人で、目標参加者数の 4,850 人を上回っている。 |

| 評価項目 | | |
|----------|------|-----------------------|
| (4)収支の状況 | 経営努力 | ・収入増加の取り組み ・経費削減の取り組み |

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージアムショップの商品販売や、展示物等の職員の自作、経費削減を行うなど、工夫を凝らした取組の努力が認められる。 |

| 評価 | 理由 |
|----|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の計画的充実や、魅力ある企画展の開催、データ分析に基づいた戦略的情報発信など、日ごろからの地道な取組が評価できる。 ・子ども向けの企画展では体験展示を実施するなど、より文学を身近に感じてもらえるよう新たな試みに挑戦していることが認められる。 ・常設展・企画展観覧者数の年間目標である 23,200 人を達成している。 ・県内外の文学館施設と交流することにより、情報収集、職員の専門性の向上など、質の高い運営につながっていると認められる。 ・職員が事業運営や職員活動に対する様々な意見を出し合い、サービス向上のための改善に取り組んでおり、優れた管理運営、事業の遂行がされたと認められる。 ・本県ゆかりの作家について、研究の成果物を作成するなど、調査・研究の更なる深化を期待する。 <p>以上のことから、要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされたと認められる。</p> |

評価基準

- 「A」 要求水準を上回る成果があり、優れた管理運営・事業の遂行がされた。
- 「B」 概ね要求水準どおりであり、適正な管理運営・事業の遂行がされた。
- 「C」 要求水準に達しない面があり、改善のための工夫や努力が必要。
- 「D」 管理運営・事業の遂行が適正に行われたとはいえ、大いに改善を要する。